花王「DE&I方針」を策定

花王は、「ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（DE&I）方針」を新たに策定し、ウェブサイトに公開した。今回の新たな方針の策定に伴い、ケミカル事業からコンシューマープロダクツ事業まで広範な事業領域によって得られる多くの機会を活用しながら、社員、ビジネスパートナー、生活者を含む社会といった、各ステークホルダーとともに、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（DE&I）の実践を促進し、社会と事業のさらなる発展を目指していく。

その実現に向けた数値目標として、社員のDE&Iに関しては「2030年までに女性管理職比率が全女性比率と同じ」「2030年までに社員エンゲージメント調査における『Inclusiveな組織風土』に関する設問の肯定回答率が75%」、ビジネスパートナーとのDE&Iに関しては「2025年までにサプライヤー100%完了」「2025年までに小規模パーム農園までのトレーサビリティを100%完了」「2025年までに花王グループで使用するパーム油をRSPO認証油に100%切り替えをめざす」「2021年～2030年インドネシア独立小規模パーム農園（約5000農園／1万8000ヘクタール）へビジネスパートナーとのDE&I実現に向けては「2022年～インドネシア独立小規模パーム農園に対して、グリーバンスメカニズムを導入」、社会のDE&Iに関しては「2030年までにすべての新製品と改良品が花王ユニバーサルデザインガイドラインに適合している」を定めた。

社員のDE&I実現に向けた取り組みとして、「女性活躍推進の取り組み」「障がいのある社員の活躍推進に関する取り組み」「LGBTQ+社員の活躍推進の取り組み」「インクルーシブな組織風土醸成」を掲げている。「すべての社員が思い込みを超えて、個人の意欲と能力が十分に発揮され、性別によらず自分らしく活躍できる職場環境の整備と風土醸成」という方針を掲げ、様々な意思決定の場に多様な視点が入ることを目指す。その実現に向け、女性管理職比率と女性社員比率に差のある日本においては、「リーダーをめざす、担える人財育成」「意欲高く働くための仕事と育児の両立支援」「バイアスのない育成や登用を実現するマネジメント教育」の3つの重点アクションに取り組んでいく。

ビジネスパートナーとのDE&I実現に向けては、「責任ある原材料調達」「取引先に求めるパートナーシップ要件に基づくサプライヤー総合評価」「インドネシア小規模パーム農園支援『SMILE』プログラム」「グリーバンスメカニズムの導入」を進める。これにより「よきモノづくり」を通じた社会課題の解決、労働者の安全やQOLの向上、農家の生活改善などを進め、公平な社会に貢献するとともに、持続可能なサプライチェーンの構築を目指す。

社会のDE&I実現に向けては、「ユニバーサルプロダクトデザイン」「障害者の視点からDXを推進するミライロ社とのユニバーサルデザインを導入してきたが、今後も誰にでも使いやすい製品の開発・提供を進めていく。

これまで同様に、「正道を歩む」価値観のもと人権の尊重を基盤としながら、改めて花王におけるDE&Iを定義し実践することで、多様な人々の個性や価値観をさらに活かし、人々の期待を超える、よりよい生活を実現する企業となることを目指しつつ、パーパスである「豊かな共生世界の実現」を推進していく。

私のH&B日記

今号の特集「オープンイノベーション推進」で、ライオンが福祉・介護現場向けに販売している、運動が楽しく続けられるモーションセンサー付きゲーム機「TANO―LT」を紹介した。

ゲームをするにあたって道具は一切使わず、モーションセンサーの前に立つだけで気軽に運動・発声・脳活性化プログラムを行うことが可能で、ゲームのコンテンツは200種類にものぼる。今回の取材では実際に、姿勢チェックやサッカーボールを蹴って的に当てるストラックアウト、窓ふきなどのコンテンツを体験し、自分の動きが点数化され、ゲーム感覚で楽しく運動することができた。

同社によると、これまで運動習慣がなかった複数の高齢者がTANO―LTを1カ月継続使用した結果、5メートル歩いた時に費やしていた時間（平均値）が8秒から5秒台まで短縮され、歩行機能の向上が見られたという。また、座った状態から立ち上がり、3メートル先の目的地に行ってまた戻ってきて座るという行為に費やした時間も短縮されたといい、もはや運動機能の維持ではなく、向上・改善にまで至っている点に驚かされた。

「TANO―LT」体験記

TANO―LTを導入した介護施設からは、「施設利用者が運動のおかげかよく眠れるようになり、夜中の呼出し数が減少した」「レクレーションの準備の効率化につながった」など、概ね好評だという。

このTANO―LTは今年6月、より科学的な運動習慣づくりサービスを目指し、利用者の骨格データと発声データの分析結果に基づき、130通りの中からパーソナライズされた推奨運動メニューを提示するレポートサービス機能を追加した「TANO―LT プラス」へと進化した。

有料オプションのレポートサービス機能を搭載したことでライオンだけではなく、介護施設側も収益化が図れる新たなビジネスモデルが確立された。こうした点も評価され、「TANO―LT プラス」は現在、当初目標を超える引き合いが来ているという。（之）

DNP×長瀬産業

CO₂排出量削減に向けたコンサルサービスを開始

大日本印刷（DNP）と長瀬産業は7月4日、化粧品等の製品のライフサイクル全体におけるカーボンフットプリントのコンサルティングサービスを開始した。

近年、サプライチェーン全体でカーボンニュートラルを目指す企業の取り組みが加速している。経済産業省と環境省は2023年5月に、カーボンフットプリント算定に向けたデータ収集やロジック設計には専門のノウハウが必要であり、集計・算定の負荷が高いため、現状は、排出の実績値を測定・収集するのではなく、業界平均等のデータから推定する方法が主流となっている。こうした方法では正確な実態を把握しにくく、CO₂排出量削減の施策を講じても、効果を算定結果に反映できないといった課題があった。

こうした課題の解決に向け、パッケージ製造に関するCO₂排出量の算定に長年取り組んできたDNPと、化学業界を中心にカーボンニュートラルを支援してきた長瀬産業は今回、両社の強みを掛け合わせ、ライフサイクル全体のカーボンフットプリントを算定するコンサルティングサービスの提供を始めた。

製品のカーボンフットプリントを算定するために必要なデータの収集方法や算定ロジックの確立など、内容物からパッケージまで含めた製品全体の、より正確なカーボンフットプリントの算定を実現する。企業のCO₂削減の取り組みによる削減量を算定結果に反映するとともに、削減効果の高い取り組みの把握なども可能になる。

ADDICTIONコンパクトケースにリサイクル素材を活用

コーセー

コーセーは8月4日、メークアップアーティストブランド「ADDICTION」から、2023年秋コレクションの新製品（3品目11品種、2530～4180円）と、リサイクル素材を使用したコンパクトケース「ザ コンパクト ケース Ⅰ〝ゾーン プリズマティック〟」「ザ コンパクト ケース Ⅱ〝ゾーン プリズマティック〟」をはじめとした限定品（7品目7品種、1320～4180円）を全国の百貨店、化粧品専門店の取扱店や公式オンラインショップで販売する。

グローバル展開では、店頭においては韓国（免税店）、台湾、香港にて、オンラインにおいては中国（越境EC）にて発売を予定している。

2023年秋コレクションの限定品「ザ コンパクト ケース Ⅰ〝ゾーン プリズマティック〟」「ザ コンパクト ケース Ⅱ〝ゾーン プリズマティック〟」は、プラスチック部分の94%にリサイクル素材を採用した、環境への配慮と高いデザイン性をあわせもったサステナブルなコンパクトケース。新商品「ザ アイシャドウ プリズム」に配合する「トラベルパール」をイメージした手に取る角度によって色が変わるプリズムカラーと、静けさを感じさせるグレーを組み合わせたデザインで秋コレクションのテーマである「SO PRISMATIC（ソープリズマティック）」の世界観を表現し、天板のニュアンスある色味に合わせた本体の繊細なグレーも再生プラスチックで再現している。

凸版印刷

ボトル内の液体を非接触で検知するNFCタグラベル開発

凸版印刷は、中身の見えないボトルなどの容器内の液体の残量を非接触で検知できるNFCタグラベルを開発し、2023年8月より、化粧品業界、医療・医薬品業界、酒類業界などに向けて提供を開始する。

このタグラベルは、同社が培ってきた独自のアンテナ設計技術を活かし、NFCアンテナと液体検知回路を組み合わせたもの。一対の電極回路をラベル内に形成し、容器の表面に貼付したNFCタグラベルをスマートフォンで読み取ることで、ユーザーは中身の見えない容器の残量確認が容易にでき、液体の有無や残量を検知することができる。また、導入企業は、消費者に対して使用状況に応じたコンテンツ提供や追加購入の誘導などのサービスを提供することが可能になる。

高級品のパッケージは、意匠性や内容物の保護の観点から中身の見えない容器が多く、ユーザーからは容器の残量を手軽に確認できる手法が求められていた。一方、企業からは商品購入後の使用状況を獲得する手段を求める声が多かったものの、現状はアンケートや購入データの追跡などが一般的で使用実態に即したデータ取得の手法は確立されていなかった。